

令和4年5月31日

日野町議会議長 小谷博徳 様

日野町議会議員

梅林 敏彦

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の背景・趣旨	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の相手
民生委員の欠員状態をいかにして改善するのか	日野町の民生委員の定数は22人と定められていますが、現在、その定員にかなり多くの欠員が生じていると聞いています。民生委員さんのいない地区では、特に高齢者や障害のある方々が、さまざまな相談や助言を受けることが難しくなっているのではないかと懸念されます。	1. 欠員が生じた背景、原因、そして欠員により住民の皆さんにどのような困難や不都合が生じているかを伺います。 2. 民生委員の確保のために町はどのような手立てをとっているのか、また民生委員のいない地区に対してどのような補完策をとっているのか、伺います。	町長
捕獲した害獣の焼却についての実証実験の進展状況について	私は、昨年9月と12月の一般質問で、高齢化と会員減少が進む猟友会の労力を削減するため、捕殺した害獣の処分を埋立てから焼却に移行すべきではないかと提案し、執行部から「令和4年度にゴミ焼却場での焼却実験を行う」との回答をいただきました。	1. 実験について現在の進展状況を伺います。また、猟友会に対しては、どんな方法で対象物を焼却場に持ち込むのかなど、具体的な説明が必要だが、それはできていますか。さらに、実験で何を調査し、その調査結果をどう生かすのか伺います。 2. 私のもうひとつの提案である「罾の見回りなどを手伝う住民サポート隊の結成」についても、今年度の当初予算で予算化されました。事業開始に向けて、現在、どのような動きをされているのか、伺います。	町長
地域おこし協力隊インターン制度の導入について	地域おこし協力隊の皆さんの活動は我が町の産業、教育、また地域社会の維持など、各分野にわたって非常に大きな力となっています。町は現在も、さまざまな分野で協力隊の募集を行っていますが、しかし応募状況は必ずしも順調ではありません。そこで、昨年度から始まった地域おこし協力隊のインターン制度の導入を提案します。	1. 執行部はこのインターン制度の内容と有用性について、どのように把握・認識されていますか。 2. この制度の導入は、今後の正規の協力隊員増加に結びつくだけでなく、非常に濃厚な関係人口の創出につながるものです。導入は早い方が良く、この夏からの導入を検討しませんか。	町長